

## 5-1 北欧モデル

(3月28日更新)

北欧では、高度な地域づくりの推進に向けた様々な施策が展開されています。例えば、フィンランド共和国の首都ヘルシンキでは「参加型ゲーム (Participation Game)」が行われています。公式紹介サイト<sup>1</sup>によれば、ヘルシンキ市の参加型ゲームとは、市の職員がどのように行政運営とサービスを居住者とのよりよい協力のもと設計できるのかを考えていくものです。また、ヘルシンキの参加型モデル導入を促進し、具体的な参加型プランを全員参加型で構築することに役立てられており、ボードゲームで、市の運営やその発展に関心を持つ人が誰でもプレーできるものとされています。

多摩市は全国の自治体で初めてのアイスランド共和国のホストタウンとなっています。アイスランドへは、ボストン、ロンドンやグラスゴーから首都レイキャビクに向かうことが

できます。レイキャビク郊外には湖のような広大なブルーラグーン温泉があり、地理的には北極近くのイメージですが、真冬でもメキシコ湾流の暖流により首都レイキャビクの寒さは多摩市ほどです。

国連 (2021)<sup>2</sup>によれば、アイスランドは国内・国際の両面において、持続可能な発展に向けたアジェンダ 2030 に全面的に参画しており、持続可能な発展目標 (SDGs) では、平和と恐怖や暴力から解放された社会とともに社会、経済、環境問題における政府の政策統合がなされています。また、アイスランドの5カ年財政計画との融合を図るため、2030年目標まで地方政府との連携の上、若者の声を政策に反映させながらさらなる検討がなされています。



The Blue Lagoon, Iceland

<sup>1</sup> 参照：ヘルシンキ市公式ウェブサイト 参加型ゲーム紹介ページ：  
<https://www.hel.fi/helsinki/en/administration/participate/channels/participation-model/participation-game/>

<sup>2</sup> 参照元：国連「持続可能な発展」参加国アイスランドの紹介ページ  
<https://sustainabledevelopment.un.org/memberstates/iceland> 参照日：令和3 (2021) 年2月17日。